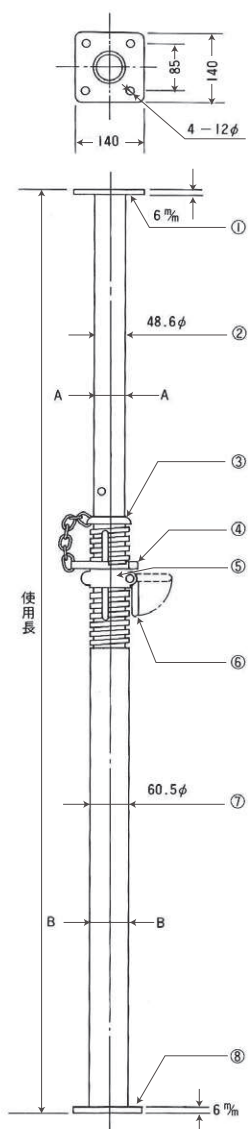


●パイプサポート

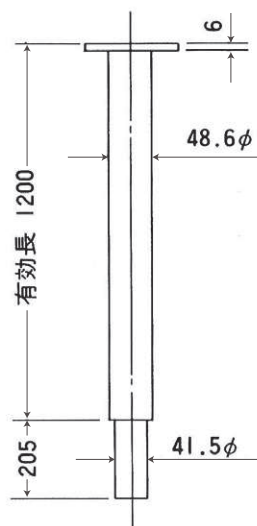
パイプサポート

パイプサポートの構造



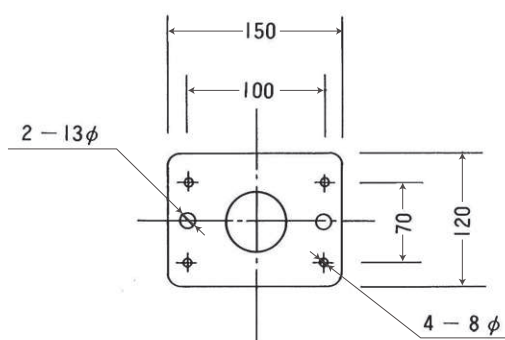
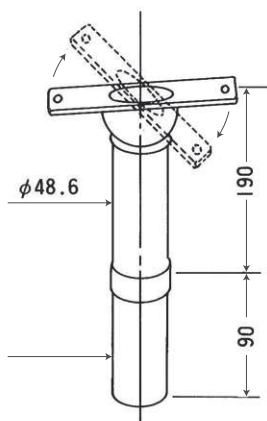
補助サポート

重量 5.0kg



ピボット

A 型



型式	区分	最大使用長 mm	最小使用長 mm	調節範囲 mm	ネジ調節 mm	重量 kg
DSS-400		600	400	200	125	4.0
DSS-20		950	600	350	125	6.0
DSS-30		1,500	900	600	125	8.0
DSS-40		2,000	1,200	800	125	9.5
DSS-50		2,600	1,500	1,100	125	11.0
DSS-60		3,150	1,800	1,350	125	12.0
DSS-70		3,450	2,100	1,350	125	13.0
DSS-90		3,950	2,600	1,350	125	15.3

●パイプサポート

パイプサポートの許容荷重

サポート 使用長 (m)	普通使用状態における 使用長別許容強度kN(kg)		一端を剛で平坦 な面で支持の時 kN(kg)
	水平つなぎ (無)	水平つなぎ (有)	水平つなぎ (無)
3.4	9.8 (1,000)	19.6 (2,000)	14.7 (1,500)
3.3	10.7 (1,100)	以下 同様 に 扱 う	15.2 (1,550)
3.2	11.7 (1,200)		15.6 (1,600)
3.1	12.7 (1,300)		16.1 (1,650)
3.0	13.7 (1,400)		16.6 (1,700)
2.9	14.7 (1,500)		17.1 (1,750)
2.8	15.6 (1,600)		17.6 (1,800)
2.7	16.6 (1,700)		18.1 (1,850)
2.6	17.6 (1,800)		18.6 (1,900)
2.5	18.6 (1,900)		19.1 (1,950)
2.4	19.6 (2,000)		19.6 (2,000)

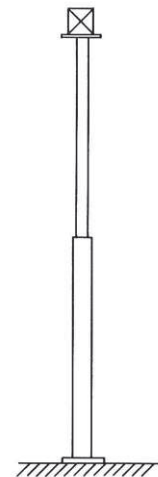
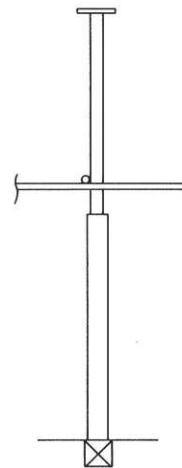
※2.4m未満の使用長に対しては許容荷重19.6kN(2,000kg)を限度として扱います。

※3.4m以上の使用長に対しては許容荷重19.6kN(2,000kg)を限度とし、高さ2m以内ごとに水平つなぎを直角2方向に設け、かつ水平つなぎの変位を防止する措置を講じてください。(鋼材と鋼材の接続部および交叉部は、ボルト、クランプ等の金具を用いて緊結すること) / 労働安全衛生規則242条

※補助サポートを使用する場合は許容荷重7.35kN(750kg)を限度として扱ってください。

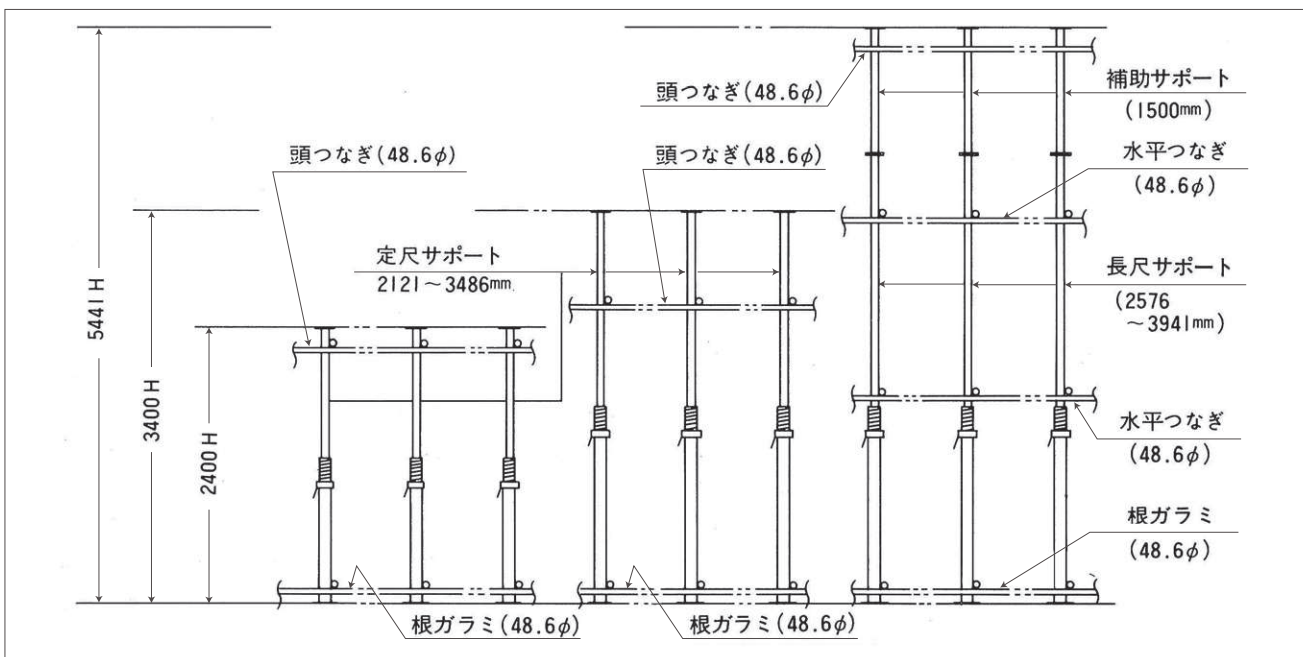
水平つなぎの例
末端の固定か又は筋交を
設けます。

一端を剛で平坦な面で
支持した時の例



つなぎ材のとり方

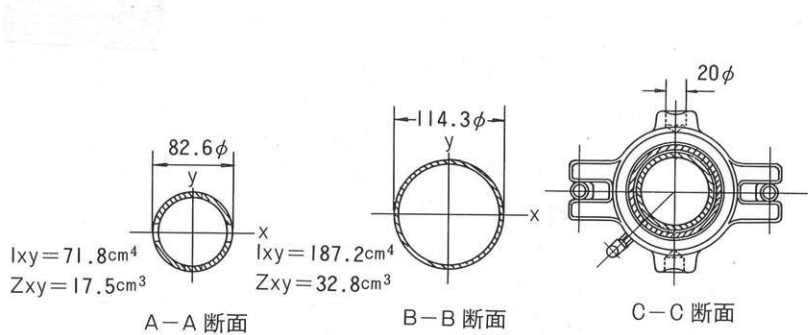
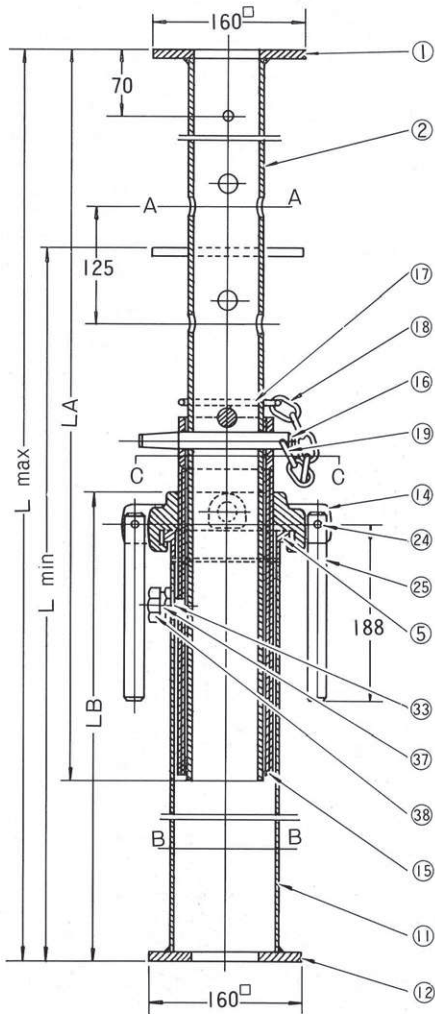
※パイプサポートにつなぎ材(48.6φ)で補強の際は必ずクランプをご使用下さい。



●強力サポート

強力サポート

●強力サポートの構造



●強力サポート部品表

部番	部品名称	材質	個数
1	受板	SS41	1
2	上柱	STK51	1
5	フランジ	STK41	1
11	下柱	STK51	1
12	底板	SS41	1
14	メネジ	S25C	1
15	ネジ筒	STK41	1
16	ピン	SCM4	2
17	環 A	SBC	1
18	鎖	"	2組
19	環 B	"	2
24	リベット	SV41	2
25	ハンドル	SS41	2
33	止メナット	"	1
37	座金	"	1
38	止メボルト	"	1

●強力サポートの仕様

型式	調節長		上下柱長		上下柱重量		総重量 kg	耐圧強度kN(t)	
	Lmax mm	Lmin mm	LAmin mm	LBmin mm	上柱 kg	下柱 kg		最大破壊強度kN(t)	許容強度kN(t)
CH-24	2470	1815	1009	1589	12.6	26.5	40.1	294.0 (30.0)	147.0 (15.0)
CH-32	3270	1865	1809	1589	21.5	26.5	49.0	294.0 (30.0)	147.0 (15.0)
CH-40	4070	2665	2609	1589	30.5	26.5	58.0	264.0 (27.0)	127.0 (13.0)
CH-50	5070	3665	3609	1589	41.8	26.5	69.3	225.0 (23.0)	98.0 (10.0)

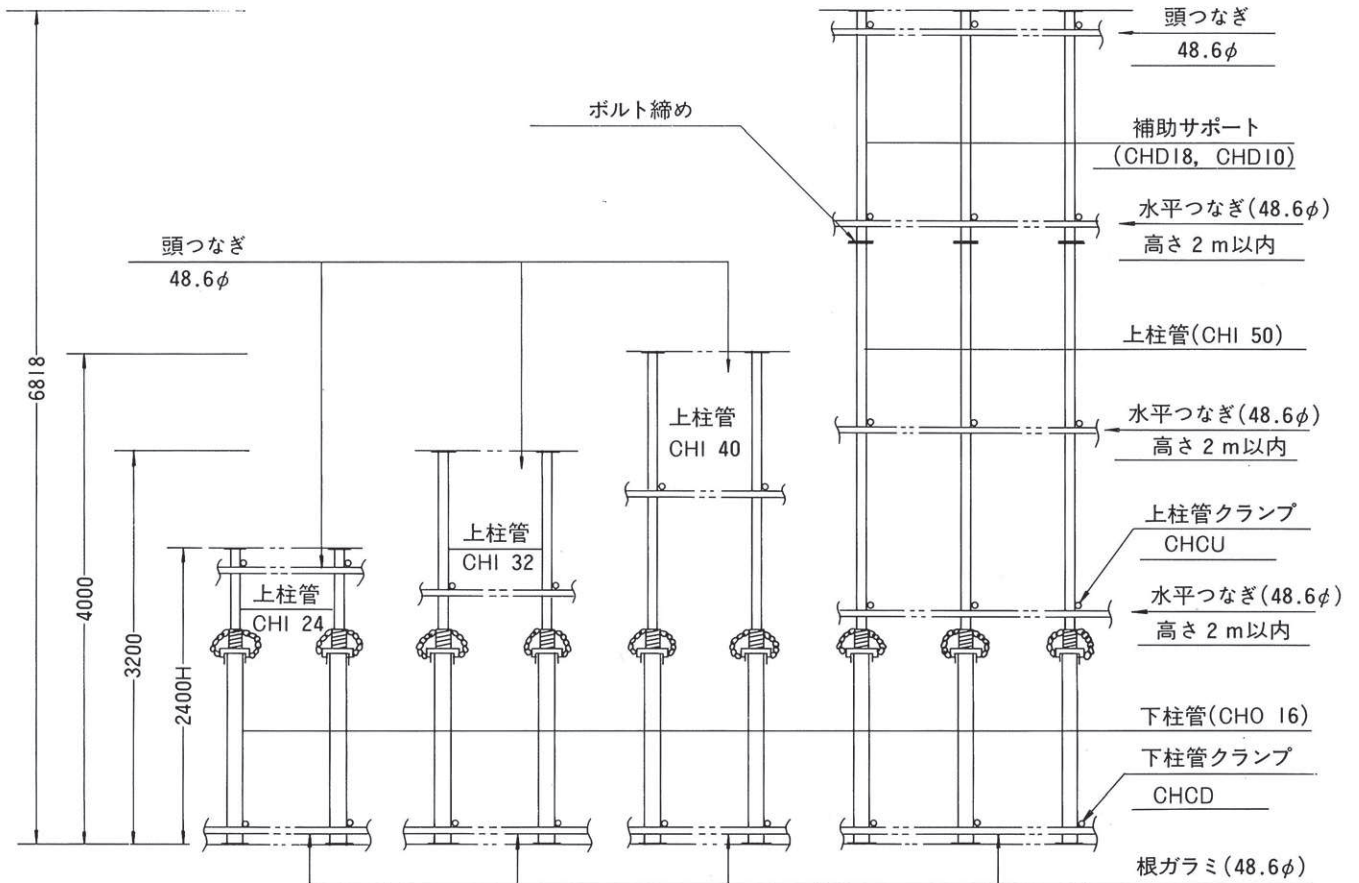
●強力サポート

つなぎ材のとり方

パイプサポートにつなぎ材(48.6φ)で補強の際は必ず専用クランプ(CHCU・CHCD)をご使用ください。

補助サポートを取付けた場合の許容荷重

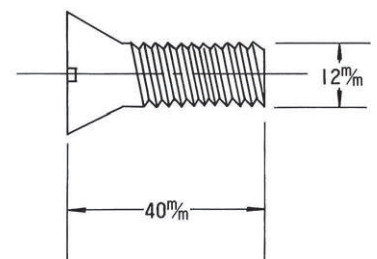
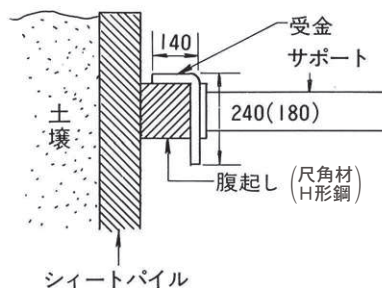
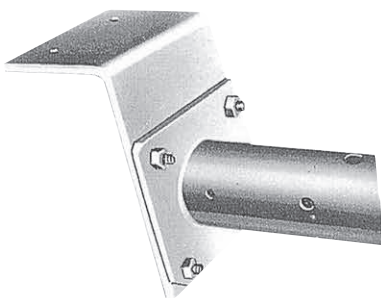
下図のようなつなぎ材をとった場合、同時使用している強力サポートと同じ許容荷重で使用することができます。



強力サポートの部材 重量4.3kg

受金 CHR2414型・1814型

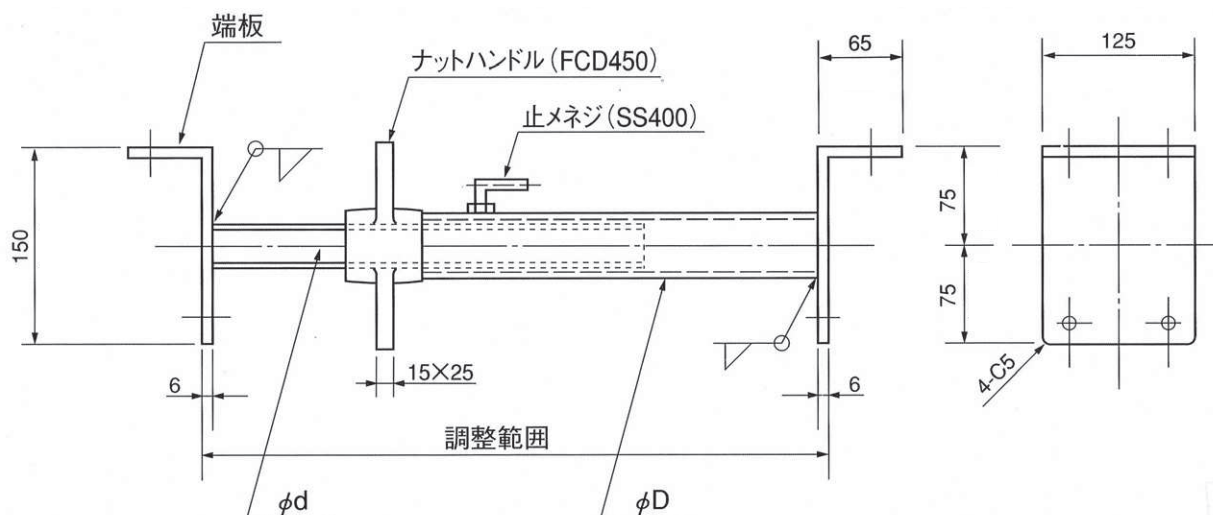
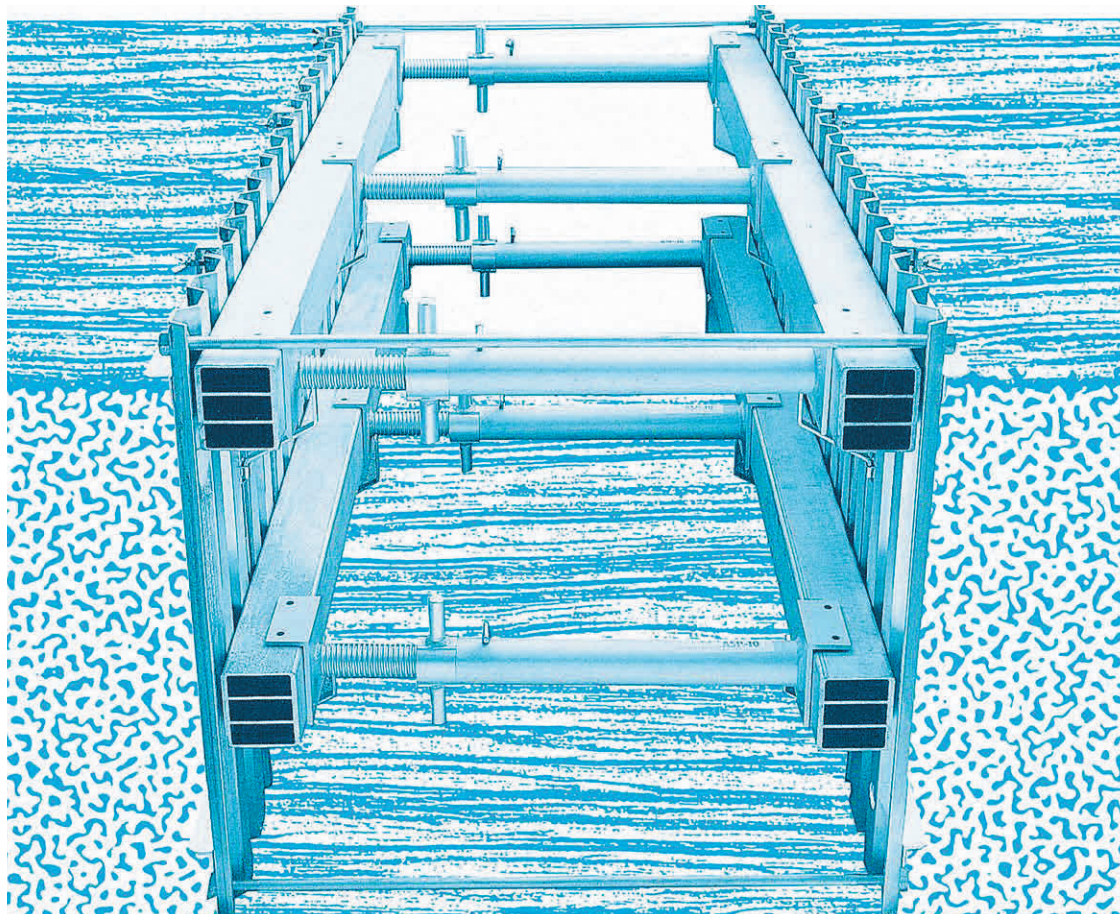
使用ボルト



切梁サポートに使用します。

●切梁サポート

切梁サポート



型 式	許容荷重	使用調整範囲(m/m)	ジャッキ (φ d)	サポート (φ D)	ナット×L(mm)	重量 (kg)	備 考
SP-6M	78.4kN (8t)	440 ~ 700	φ 40×420	φ 48.6× 360	p7×55	9.0	片ネジ式
SP-6	78.4kN (8t)	610 ~ 1,000	φ 40×570	φ 48.6× 530	p7×55	10.0	〃
SP-6L	78.4kN (8t)	750 ~ 1,250	φ 40×720	φ 48.6× 670	p7×55	12.0	〃
SP-10L	107.8kN (11t)	1,200 ~ 1,800	φ 50×850	φ 60.5×1,100	p7×60	22.0	〃
ASP-10L	68.6kN (7t)	1,200 ~ 1,800	φ 50×850	φ 70.0×1,100	p8×60	8.5	〃